



JC三信条



活動の基本を

「個人の **修練** (Training)」
 「社会への **奉仕** (Service)」
 「世界との **友情** (Friendship)」におき
 「明るい豊かな社会を築き上げる」
 ことを共通の理念としています。
 また、会員相互の啓発と交流をはかり、
 公共心を養いながら、
 地域との協働により
 社会の発展に貢献することを
 目的としています。



1. 「個人の機会」(Leadership development)

指導力開発・人間力開発の機会です。様々な研修プログラムや活動の中で自己啓発の機会が与えられます。

2. 「地域の機会」(Community development)

社会開発・まちづくり機会です。地域社会との関わりができ、社会奉仕活動をする機会が与えられます。

3. 「国際の機会」(International)

国際交流・国際貢献の機会です。JCI（国際青年会議所）のメンバーとして、世界会議やASPACなど、世界と関わる機会が与えられます。

4. 「ビジネスの機会」(Business)

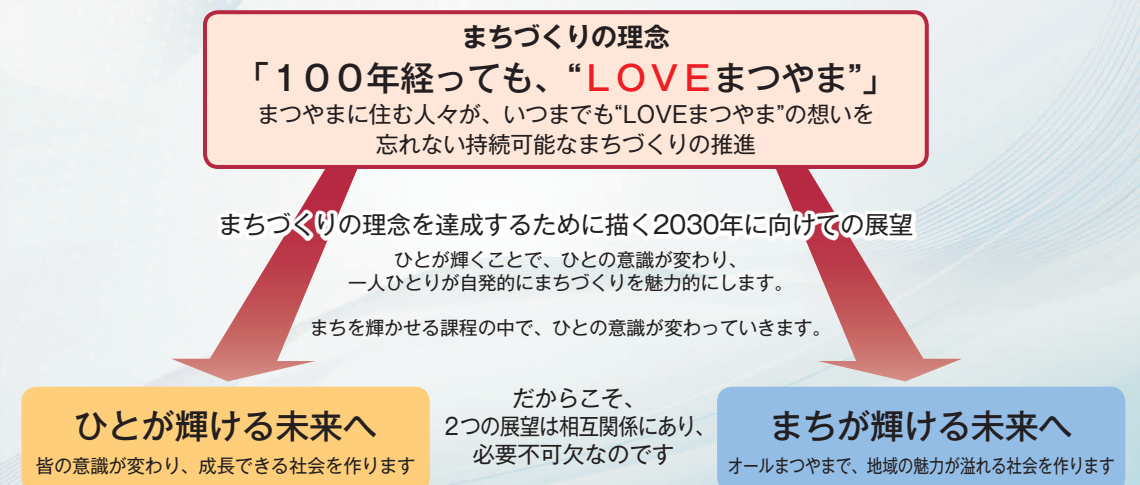
経済活動・経営開発の機会です。日本全国、世界各国の志あるメンバーと出会うことができ、新しいビジネスの機会が与えられます。



松山JCについて

2030年まつやままちづくりビジョンをまちづくりの基本理念に運動を行っています。

2030年まつやままちづくりビジョン
 まちづくりの理念と理念達成への展望 簡易図



松山JCの事業と活動



松山春まつり・お城まつり



毎年4月に開催される松山春まつり(お城まつり)は、大名武者行列が大街道から千舟町を練り歩き、ステージイベントなどで地域の皆さまから期待されている事業です。

青少年育成事業



「わんぱく相撲まつやま場所」を、「わんぱく相撲全国大会」の地方予選として開催しています。相撲を通じて、様々な事を学ぶ場として心豊かな青少年の育成を推進しています。

委員会



メンバーは委員会に所属し、月に一度会議を行います。委員会の任されている事業などの実施に向けて、アイデアを出しあいながら、事業成功に向けて活動しています。

松山市と連携した事業の企画・運営・実施



持続可能なまちづくりを目指す産学官連携組織「まつやま未来コネクト」を立ち上げ、産学官民の一体化を目指して連携を牽引し、地域活性化を図る事業を松山市と実施しています。

高校生英語スピーチコンテスト



地域のグローバル化に貢献できる人材の育成を目的とし、日本の高校生と海外の高校生がオンラインで交流し合う事業です。お互いのまちの魅力を英語でプレゼンテーションし、その内容を評価・表彰するスピーチコンテストを実施することで、若い世代の育成につなげています。

例会事業



毎月一回、さまざまなテーマが設定された例会を開催しています。メンバーの学びの場や、交流の場として有意義な時間となっています。

女性会員交流会



男性の多いJCですが、女性メンバーもいます。定期的に女性メンバーが集まり意見交換や交流を深めています。

地域のたから活性化を活性化させる取り組み



豊かな自然と地域の魅力を五感で感じる新たな地域振興イベント「IYONIC RUN 2025」。マラソンとピクニックを融合した「マラニック」として企画し、全国から集まったランナーたちは全長約52kmのコースを、景色や地元の味覚を楽しみながら駆け抜けます。

これまで行ってきた事業



道後地区活性化事業



多くの地域の皆さまに、道後地域の魅力を発信する事業です。道後に足を運んでいただき、道後の魅力に触れていただいています。

献血推進事業



新型コロナウイルス感染症の影響により、血液不足が大きな課題でした。本当に血液を必要としている方々に適切に血液が行き届くよう、636名の方々に献血していただきました。

公開討論会



松山青年会議所が活動するエリアにおける各自治体首長選挙に際し、公開討論会を開催しました。候補予定者の政策やビジョンを広く発信することで、市民の政治への関心と参加を促し、政策本位の選挙実現を目指して実施したものです。

俳句甲子園



俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考え、1998年に第一回の俳句甲子園を開催しました。現在は「NPO法人俳句甲子園実行委員会」に事業を移管し高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育てています。

他団体との連携

交流会だけにとどまらず、松山青年会議所は松山商工会議所青年部(YEG)や公益社団法人松山市青少年育成市民会議、公益財団法人えひめ産業振興財団などとも協力し、事業や活動を行います。



メンバーの声



- | | |
|----------------------|-------------------|
| ①松山JCへ入会した理由 | ④JCに求めるもの |
| ②JC活動を通して感じたこと・考えたこと | ⑤JC活動をして仕事に活かせたこと |
| ③今後のJC活動への抱負 | |

現役メンバーの声



横山 陽名
入会 2022.9
株式会社日本皮膚美研

- ①22歳で入会しましたが、もともといつかはJCに入会したい思いはありました。しかしいつ入ろうというところで悩んでいました。30歳になったら入ろう、35歳になったら入ろうと後に伸ばした分出会えたはずの人と出会えなくなることが勿体無いと思い機会があったその時入会しました。その選択は大正解でした。
- ②「時間は作るもの」まさしくこの言葉を実感しました。ワークライフバランスが大切とされているこの時代ですが若さ溢れる20代30代、私の中では人生での頑張りどきです。仕事が忙しいからJCはやらないではなく、全部できるんです。JCに入って時間の使い方が上手くなったと思います。仕事、家事、育児、JC、人生一度なので全てやります。そしてそれを支えてくれるメンバーが松山JCには沢山います。経営者として優先順位を考えることが大切だと思います。しかし出会いのチャンスを取りこぼさないことも大切だと思います。私はあの時入会を選択をして良かったと感じています。
- ③大それた抱負がないのが正直なところです。私は卒業までが長いので一年一年これからも学びを吸収したい、それを継続することです。そしてこれから後輩もできると思います。その後輩に私が先輩方にしていただいたことを返せるように自己を鍛錬したいです。
- ④「人は長所で尊敬され、短所で愛される」私の好きな言葉です。JCは後者が叶う場所だと思っています。これからもそういう団体であって欲しいなと思います。
- ⑤JCは単年度制で組織図が入れ替わります。毎年素敵なリーダーを見つけることができます。そういったリーダー像を見て学び、具体的にそのまま社業に落とし込みます。



平田 丈治
副理事長
入会 2017年9月
愛麺株式会社

- ①会社を経営している中で、嬉しいことも悩むことも全て“自分一人を抱える感覚”が増えていました。同じような立場や年齢で、日々本気で走っている仲間がほしい。同世代の青年経済人と、悩みも挑戦も共有しながら切磋琢磨できる環境に身を置きたい。それが、私がJCに入会した理由です。
- ②入会して感じたのは、「同じ立場で本気で頑張っている仲間の存在は、これほど心強いものなのか」ということでした。会社の課題や家族のことも、立場が近いからこそ遠慮なく本音で語り合える仲間と出会えたことで、自分の視野も行動も大きく広がりました。“経営者だから”と我慢し続けていた部分が、JCでは自然と開放され、仲間に刺激されながらまた前に進む力をもらっています。
- ③これからは、私自身も「頼れる存在」になりたいと思っています。自分が仲間から支えてもらったように、今度は後輩や周りのメンバーの背中を押せるような立場になりたい。そして、同世代の青年経済人同士が、気軽に悩みを共有し、挑戦を語り合えるような雰囲気づくりに力を入れていきたいです。JCを“心から本音が言える場所”にしていきたいと思っています。
- ④私がJCに求めるものはシンプルで、「本音で語り合える、同世代の仲間とのつながり」です。立場や責任が大きくなるほど、相談できる相手は少なくなる。だからこそ、価値観の近い仲間たちと刺激し合い、支え合える環境をこれからも大切にしたいと思っています。
- ⑤JCでできた信頼関係は、仕事にも大きく良い影響を与えてくれています。仲間との議論の中で価値観が広がり、組織づくりや人材育成、新規事業の判断軸も以前より柔軟になりました。特に意見が違う仲間としっかり話し合い、合意形成して事業を形にする経験は、会社のチーム運営にそのまま活かしています。



山名 健太
副委員長
入会 2024年8月
株式会社
アステティックスジャパン

- ①社内外問わず多くの知り合いの方が松山JC出身の方でした。人間として魅力が高く、一つの事業に対して注ぐ熱量や想いに心を動かされ入会を決意しました。また、個人的には人間の成長や人脈の拡大にも繋がると感じたことも入会の理由です。
- ②お金や自社の事業拡大のためでなく、地域・人のために汗をかき、活動を行うことで本当の仲間ができたと感じました。年齢や経歴でなく、役職で仕事をしていく組織体制についても、1年毎に違った立場から活動に参加できることが自身の成長に繋がると感じています。
- ③今までは、右も左もわからず、先輩に多くのことを教えてもらいながら活動に参加していました。今年で入会3年目となり、私よりあとに入会したメンバーも増え、今まで先輩方から教えていただいたことをあとから入会したメンバーにしっかりと伝えていきたいと考えています。
- ④松山青年会議所のメンバー以外にも多くの青年会議所メンバーと交流する機会があればいいと思います。同じJCということで、別の青年会議所の方とも共通点が多く打ち解けるスピードが段違いだと思います。そのメリットを活用した事業がより増えることを期待しています。
- ⑤私の業態では直接的な仕事の受注というものはあまりありません。ただし、JCで事業を構築していくうえで身についた仕事に対する姿勢や考え方、人との接し方など直接的ではなくても間接的に非常に仕事に活用ができています。仕事に、売上に繋がらない業種だから入会しても意味がない、ということではなく、もっと根底の部分から成長して仕事に活かせるのがJCだと考えています。

メンバー一同入会をお待ちしています

新入会員メンバーの声



田所 颯真
入会 2025年6月
積水ハウス株式会社

- ①住宅営業としてお客様の大きな選択に向き合う中で、より広い視点の必要性を感じました。その視座を高める場として、優秀な先輩方と直接話し、考え方に触れられるJCに魅力を感じ、入会を決意しました。
- ②JCでは、普段関わらない多様な業種の方々と意見交換ができ、確実に視野が広がっています。事業に真剣に向き合う先輩方の姿勢は大きな刺激であり、会議や準備を通して主体的に動く重要性や、仲間と目標に向かう意義を実感しました。
- ③より多くの人と関わり、多角的な視点を磨きたいと考えています。そこで得た学びや気づきを自分の成長につなげ、地域のために活かしていくことを目指します。
- ④普段の仕事では得られない学びや気づきを得られる環境を期待しています。多様な価値観を持つ仲間から刺激を受け、そのつながりを通じて自分自身の成長につなげたいです。
- ⑤多様な価値観の方々との関わることで、相手に合わせた伝え方やコミュニケーション力が向上し、提案力の強化につながっています。また、地域課題に触れる機会が増え、地域に根ざした視点を営業活動にも活かせるようになり、お客様からの信頼にもつながっています。



合田明日香
入会 2025年8月
株式会社Jolie&Co.

- ①友人から以前より入会を勧められていましたが、その友人や先輩方の真剣な姿勢や強い想いに触れる中で、自分もその一員として力になりたいと感じました。ただ誘われたからではなく、活動に向き合う熱意に心を動かされ、自身の成長にもつながると確信し、入会を決意しました。
- ②活動に参加する中で、先輩方が地域の未来を本気で考え、真剣に行動している姿を間近で感じました。一つひとつの事業に込められた想いや、その裏にある責任感を知ることで、自分もより主体的に関わりたいという思いが強くなりました。JCの持つ熱量と志の高さを改めて実感しています。
- ③これまでの活動で得た気づきや学びを、自分自身の成長につなげていきたいと考えています。今後は受け身ではなく、より主体的に事業に関わり、仲間とともに地域社会へ貢献できる存在になりたいです。
- ④私がJCに求めるのは「自己成長の機会」です。普段の生活や仕事では得ることが難しい経験や、多様な価値観に触れられる環境がJCにはあると感じています。他者を思いやりながら自分の意見を発信し、行動に移せる場があることで、人としての幅が広がり、挑戦を重ねながら成長していけると考えています。
- ⑤JC活動では、他者への思いやりや丁寧な立ち振る舞い、状況に応じた配慮の重要性を学びました。また、組織として動く際の役割分担やコミュニケーションのあり方、リーダーシップの取り方など、組織論に触れる機会も多く、日々の仕事に直結する学びばかりでした。これらの経験は、実務の質の向上にも大いに役立っています。

松山JCのクラブ紹介



じゃがいもクラブ



毎月一回例会を開催し、シニアと現役の交流の場となっています。紳士的なふるまいやマナーを身に付け、自身の成長にもつながります。

松山JCライダースクラブ



日本JCライダースクラブに所属している、オートバイをこよなく愛するメンバーが集まり交流を深めています。

青松会



2019年に発会した新しいクラブです。定期的に茶道の稽古や茶会を開催します。おもてなしの精神や侘び寂びを感じられる日本の伝統文化を学んでいます。

釣りクラブ



年に8回程度、瀬戸内海を中心に船に乗って釣りに行きます。瀬戸内海の豊かさを感じながら交流を深めています。

サッカー部



県内外のJCと試合をしたり、フットサルをしたりしています。楽しみながらJC内での大会での上位進出を目指しています。

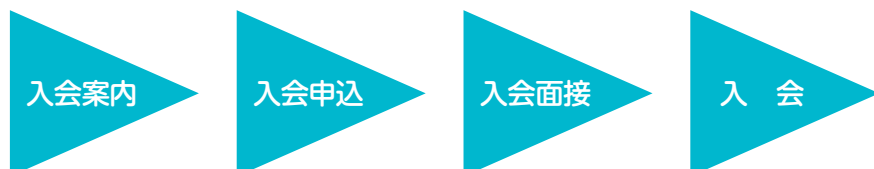
自転車クラブ



定期的な愛車自慢の懇親会や、グルメライドを予定しています。自転車好きであれば誰でも参加できます。

入会要項

入会の流れ



入会資格

1. 青年会議所の目的と意義に賛同し、自発的な意見と情熱を持っていること
2. 原則として、満20歳以上40歳未満の入会した年を含め2年以上活躍できる品格ある青年であること
3. 松山市およびその周辺に住所又は勤務先を有すること
4. 健全な社会人としての教養と良識のある方で最低月1回開かれる例会と委員会に出席できること
5. 国籍は問いません
6. 松山青年会議所会員2名以上の推薦があること

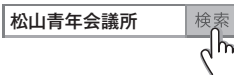
入会金及び会費

- 入会金 …… ￥30,000 (税別)
 年会費 …… ￥132,000 (税別)
 委員会費 …… ￥10,000～￥15,000 (月額) (税別)
 ※各委員会により異なります。

事務局

〒790-0864 愛媛県松山市築山町12-33 (松山市青少年センター内)
TEL: 089-941-0194 FAX: 089-943-0149
 E-mail: jimkyoku@matsuyama-jc.or.jp
 https://www.matsuyama-jc.or.jp

松山JC 公式ホームページ



広報誌「わかつばき」

松山JC 公式アカウント



GUIDE BOOK

公益社団法人松山青年会議所 入会案内

